

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和 5年 2月 3 日

住 所 埼玉縣川越市石田本郷柳原町1020-1

県内企業等の名称 株式会社秀和

代表者役職 氏名 代表取締役 坂井 善之

株式会社秀和

はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた

取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

高品質の新商品開発・製造に取り組むことにより、産業廃棄物の削減に貢献する。社員ひとりひとりが誠実に事業活動に取り組むことにより、SDGsの達成に貢献していく。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	工場で使用する電灯のLED化や、省エネ効果の高い設備の導入などにより使用電力の削減を図る。 <(現状値)2021年の数値> ①LED化率:20% ②電力使用量:60000kwh/年	<2030年に向けた指標> ①50% ②48000kwh/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①30% ②54000kwh/年
社会	従業員のQOL向上として、年次有給休暇を促進する。 <(現状値)2021年の数値> 年次休暇平均取得日数:7日/年	<2030年に向けた指標> 13日/年 <取組開始3年後に向けた指標> 10日/年
経済	より耐久性の高いクーラーボックスなど、持続可能な社会に適合する新製品を開発し、廃棄物量を削減する。 <(現状値)2021年の数値> ①新製品開発件数:1件/年 ②廃棄物量:100kg/年	<2030年に向けた指標> ①3件/年 ②50kg/年 <取組開始3年後に向けた指標> ①2件/年 ②80kg/年

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。